

---

# CSS

ボックス要素とインライン要素

---

## 9 時間目

# 各要素には、自動的に改行されるモノとそうでないモノがある

## 解説

HTMLの各要素には、自動的に改行されるモノとそうでないモノがある。自動的に改行されるモノを『ブロック要素』と呼び、そうでないモノ（=改行されないモノ）を『インライン要素』と呼ぶ。

1

## ブロック要素

その要素を2つ以上続けて書くと、自動的に改行されて表示されるモノ。

<h1>、<h2>、<div>、<form>、<table>、<p>、<ul>、<li>など

2

## インライン要素

その要素を2つ以上続けて書くと、改行されずに横並びに表示されるモノ。

<img>、<a href>、<strong> など

## 補足

ブロックレベル要素の中にはブロック要素・インライン要素を入れる事ができますが、インライン要素の中にはブロック要素を入れる事はできません。

# 各要素のその他の特徴

解説

ブロック要素とインライン要素は、改行以外にも様々な違いがあります。

	改行/横並び	margin	padding	text-align
ブロック要素	改行される	上下左右ともに効く	上下左右ともに効く	そのブロック要素で囲んだ中身のテキストや画像に対して効かせることが出来る
インライン要素	横並びになる	左右は効く 上下は効かない	左右は効く 上下は効くが表示がおかしくなる	そのテキストや画像を『div』や『p』などで囲う事でそのテキストや画像に対して効かせることが出来る



『text-align:center;』を使用した中央寄せの詳細は、次の講座で学びます。

# ブロック要素を続けて書いた場合①

HTMLファイル (index.html)

```
<body>

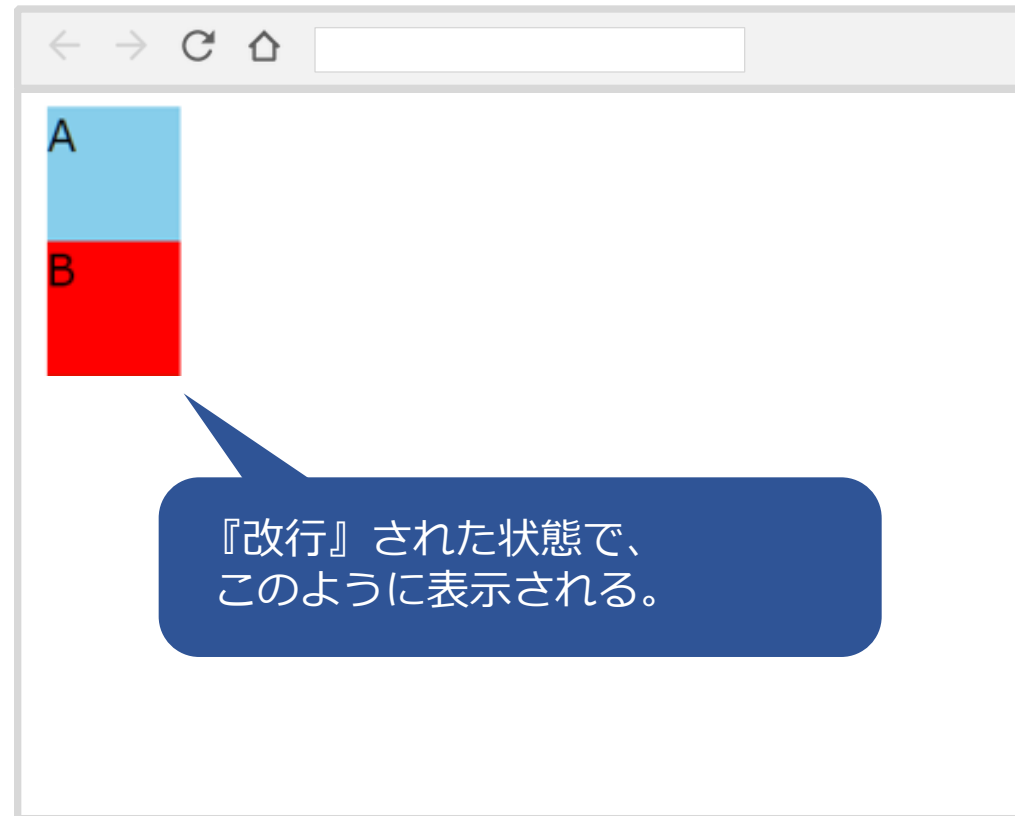
  <div class="boxa">A</div>
  <div class="boxb">B</div>

</body>
```

CSSファイル(style.css)

```
.boxa{width:50px;
      height:50px;
      background-color:skyblue;
}

.boxb{width:50px;
      height:50px;
      background-color:red;
}
```



## ブロック要素を続けて書いた場合②

HTMLファイル (index.html)

```
<body>

<ul>
  <li>東京</li>
  <li>大阪</li>
  <li>名古屋</li>
</ul>

</body>
```

CSSファイル(style.css)

```
ul{
}

li{
}
```



- 東京
- 大阪
- 名古屋

『改行』された状態で、  
このように表示される。

ブロック要素を横並びにするには・・・

ブロック要素は、自動的に改行されるので  
横並びにするには、『float』を使用する必要がある。

# ブロック要素に『float』を加えて書いた場合①

HTMLファイル (index.html)

```
<body>

  <div class="boxa">A</div>
  <div class="boxb">B</div>

</body>
```

CSSファイル(style.css)

```
.boxa{float:left;
      width:50px;
      height:50px;
      background-color:skyblue;
}

.boxb{float:left;
      width:50px;
      height:50px;
      background-color:red;
}
```



## ブロック要素に『float』を加えて書いた場合②

HTMLファイル (index.html)

```
<body>

<ul>
  <li>東京</li>
  <li>大阪</li>
  <li>名古屋</li>
</ul>

</body>
```

CSSファイル(style.css)

```
ul{
}

li{float:left;
  margin-right:30px;
}
```



• 東京 • 大阪 • 名古屋

『改行』された状態で、  
このように表示される。



# インライン要素は横並びになる

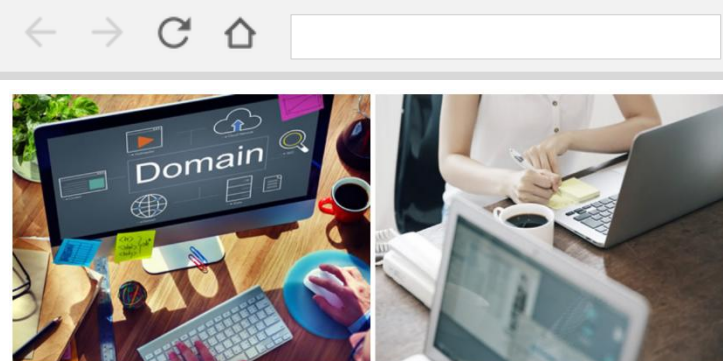
インライン要素は、自動的に”改行されない”ので、  
何もしなくとも横並びになる。

# インライン要素を続けて書いた場合①

HTMLファイル (index.html)

```
<body>  
  
    
    
  
</body>
```

CSSファイル(style.css)



『横並び』の状態で、  
このように表示される。

# インライン要素を続けて書いた場合①

HTMLファイル (index.html)

```
<body>  
  
  <a href="https://www.internous.co.jp/">インターノウス</a>  
  <a href="http://proengineer.internous.co.jp/">プロエンジニア</a>  
  
</body>
```

CSSファイル(style.css)



[インターノウス](https://www.internous.co.jp/) [プロエンジニア](http://proengineer.internous.co.jp/)

『横並び』の状態で、  
このように表示される。

インライン要素を改行させたい場合は  
『div』 『p』 『display:block』 『ul & li』 等を  
使用する必要がある。

# インライン要素を『改行させたい』場合①

HTMLファイル (index.html)

```
<body>
```

```
  <p></p>
```

```
  <p></p>
```

```
</body>
```

CSSファイル(style.css)



『改行』された状態で、  
このように表示される。

# インライン要素を『改行させたい』場合②

HTMLファイル (index.html)

```
<body>

<div class="gazo">
  
</div>

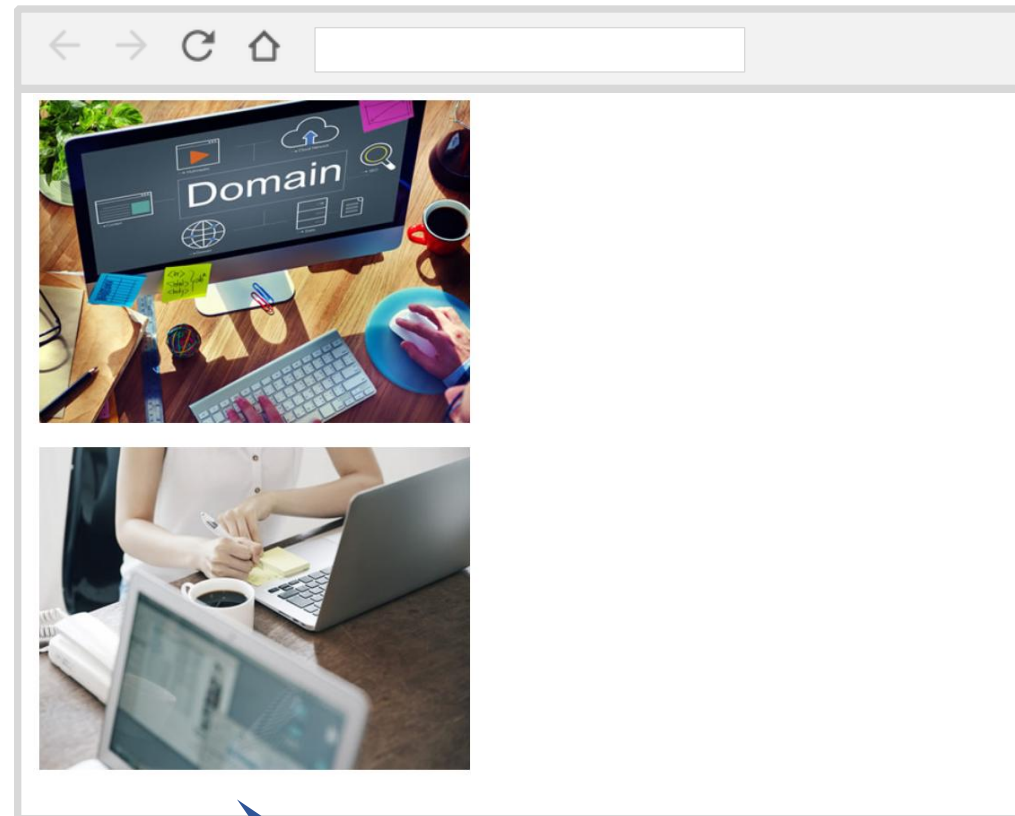
<div class="gazo">
  
</div>

</body>
```

CSSファイル(style.css)

```
.gazo{
}
```

『div』を使用していれば、  
classの中身が空でも右のように改行される。



『改行』された状態で、  
このように表示される。

# インライン要素を『改行させたい』場合③

HTMLファイル (index.html)

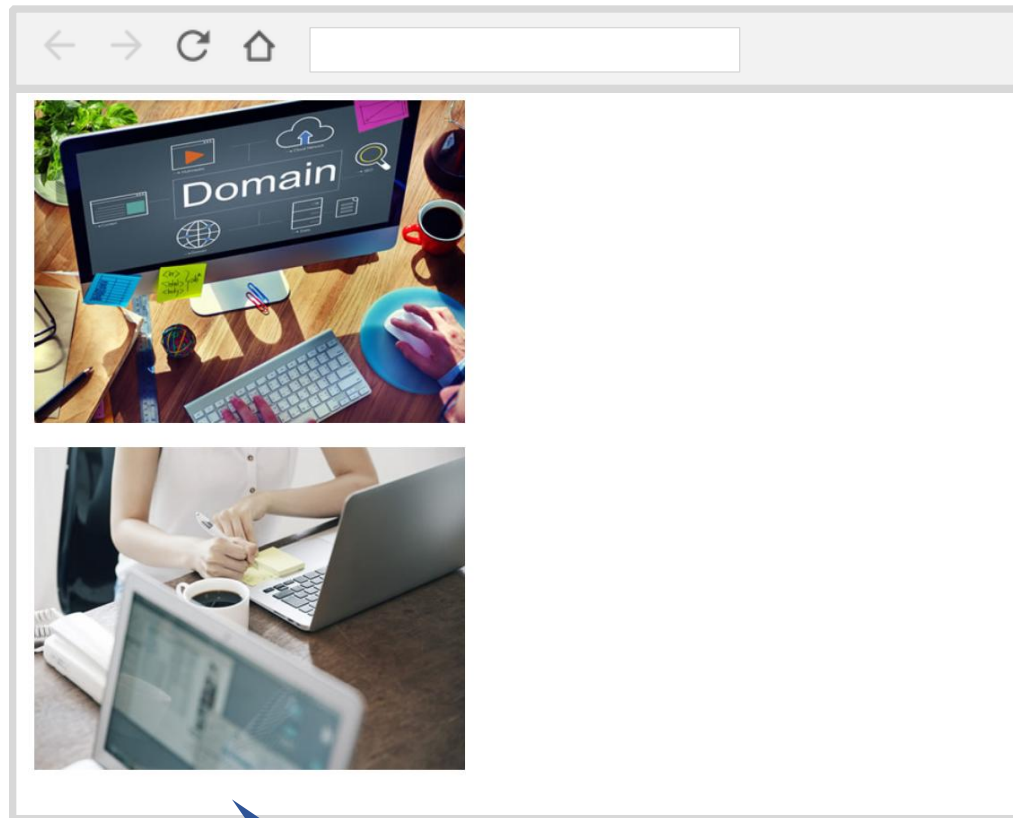
```
<body>
<ul>
  <li> </li>
  <li> </li>
</ul>
</body>
```

CSSファイル(style.css)

```
ul{
}

li{list-style:none;
}
```

『list-style:none』で、自動的に表示される、点を非表示。



『改行』された状態で、  
このように表示される。

# インライン要素を『改行させたい』場合④

HTMLファイル (index.html)

```
<body>

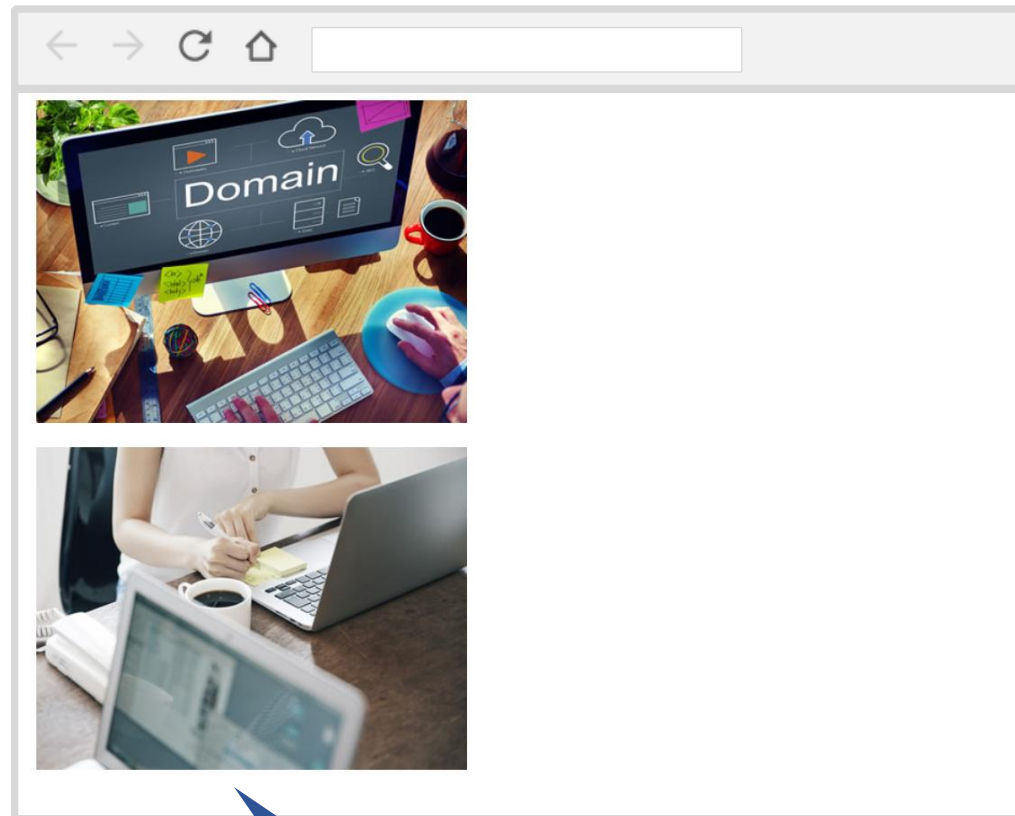
  
  

</body>
```

CSSファイル(style.css)

```
img{display:block;
}
```

『display:block』と記述することで、インライン要素をブロック要素化することが出来る。



『改行』された状態で、このように表示される。



displayプロパティとは、

ある要素を「ブロック要素に変更」したり

ある要素を「インライン要素に変更」したりするモノ

代表的なdisplayプロパティには、下記の3つがある

## 1 display:block;

『テキスト』 『画像』 などのインライン要素をブロック要素として表示したい場合に使用。

## 2 display:inline;

『div』 『p』 『ul & li』 などのブロック要素をインライン要素で表示したい場合に使用。

## 3 display:inline-block;

インライン要素のように横並びが出来て、ブロック要素のようにmargin や padding等で上下左右の間隔を自由に指定できる。 『div』 『p』 『ul & li』 などのブロック要素をインライン要素で表示したい場合に使用。